

地域特定課題提案一覧（概要版）

	提案委員	課題名	提案理由	課題の内容
1	山田準二	国府町全域を対象としたイベントの再点検	○様々なイベントの町民・各地域の関わりについて点検	○因幡の傘踊りの祭典、万葉フェスティバル、こくふまつり等のイベントと、各まちづくり協議会との関係
2	木下敏明	放課後児童クラブの施設充実と運営方法改善	○宮下の施設は手狭 ○運営者、自治会、支所の話し合いが必要	○自治会と併用使用の内容理解の不十分さ
3	岸本武司	空き家活用対策	○空家の増加は村の疲弊、荒地化を助長	○空家の所有者の気持ちを聞く場の設定 ○空家の有効活用等の検討
4	山根玲子	万葉の館開店について	○閉鎖状態であるのは問題	○施設の中で、国府町の特産品や年間行事等の写真の展示
5	山脇隆	鳥獣被害防止計画	○鳥獣被害による耕作放棄地の増加 ○これに対処するための処理施設の設置と販売策の検討	○各集落被害状況の把握と耕作放棄状況 ○遊休施設の有効活用
6	横山璋也	菅野ミズゴケ湿原保存整備	○荒廃した湿原の復活	○山陰海岸ジオパークエリアの活用の一環

地域特定課題提案一覧

提案委員	課題名	提案理由	課題の内容
1 山田 準二	国府町全域を対象としたイベントの再点検	各公民館を対象としたイベント、町全域を対象としたイベントが実施されているが（主催がどこになっただけで別）、町全域を対象にしたイベントに町民、各地域がどのように関わっているか、衆知されているか点検する必要があるのではないか。	「因幡の傘踊りの祭典」「万葉フェスティバル」「こくふまつり」「万葉ウォークラリー大会」「因幡万葉湖ウォーキング大会」に各まちづくり協議会がどのようなかかわり、取り組んでいるか。
2 木下 敏明	放課後児童クラブの施設充実と運営方法改善	<ul style="list-style-type: none"> ・宮下の施設は手狭（広い所） ・運営者と自治会、支所の3者での話し合いが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と併用使用の内容を十分に理解していない。 ・支所の指導が不十分
3 岸本 武司	空き家活用対策	従来の「村のつきあい」を拒み、村から住所を別の場所に移しているが、年に数回は戻ってくる、という状況の事例は多いと思ふ。今後、その住居をどうしたいのか、判断に迷っている所有者は多分たくさんいると思う。空き家の増加は、村を疲弊させ、荒地地化させ、防犯上好ましくない。	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の所有者の考えを聞き、本音の気持ちを探し、お互い納得になる方法を話し合う事は出来ないだろうか。 ・個人対個人の話ではなく、行政主催の“集いの場”的な場面を設定したほうがベストではないだろうか。 ・空き家の有効利用で、又、別の活性化、若者の加入も考えられるのではないか。別の利用方法、また、当該集落としての取り組みにも新しい考えが生まれるのではないだろうか。
4 山根 玲子	万葉の館開店について	国府町の中心地であり、万葉の館が開いていないと淋しい気持ちで町の発展のためには、万葉の館が輝いていないといけないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 国府町の特産（みやげ店） ぶどう・梨・ねぎ・玉ねぎ ・国府町の野菜、菓子のかきもちを使って、東小学校、福部小中学校の学校給食を東小学校で作って福部に運んでいる。（写真等） ・学校給食で食べている写真等 ・年間行事の観光写真の広告 ・さつき、松、国府町の花等
5 山脇 隆	鳥獣被害防止計画	何年来、国府町においても、イノシシ、シカの農作物被害が報告され耕作放棄地等年々増えている。この対処と地域振興のため処理施設の設定と販売策の検討のため。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市（国府町）における各集落被害状況の把握と耕作放棄状況。 ・有休施設（市所有及び補助金を投入している施設の有効活用（ジビエ解体処理加工施設））
6 横山 璋也	菅野ミズゴケ湿原保存整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 昭和42年12月12日県指定文化財 ② 貴重な植物湿原で天然の記念物である ③ 荒廃した湿原となっている。復活させた 	<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸ジオパークエリア（雨滝・扇ノ山・殿ダム）の活用一環。

視察研修先提案一覧

提案委員	視察先	目的	時期
1 山田 準二	県内のまちづくり先進地	振興会議設立の目的が、まちづくりにあると聞いた。「じげおこし」「まちづくり」の先進地はあると思うので、行ってみたい。特に、文化遺産を活用したまちづくりを実践しているところがあれば最適である。	11月～12月 (11月は行事が多いので平日で)
2 木下 敏明	① 国府町内 (児童クラブ2ヶ所) ② 鳥取市内 (同規模の施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備 ・環境 ・指導方針 	
3 岸本 武司	用瀬町大村から智頭町 (板井原集落) 周辺	国府町は海拔5mから400mの間に住居・集落が点在しており、特に山間地域では過疎化の傾向があるが、同じ山間地域でも、地域の特徴を“場所の価値”として付加価値を付け、広く外部に発信している处もある。 用瀬町の「おう穴郡」を通過し智頭町の板井原に抜ける県道沿いの風景を視察し、併せて、板井原集落の賑いを確認する事で、別の視点、別の価値観を得る事が出来るのではないだろうか。	10月末から11月 (紅葉の頃)
4 山根 玲子	美敷水源地、万葉歴史館、国府庁跡	国府町の歴史と文化を再確認し、未来の国府町の万葉のふる里、歴史と文化を伝承して国府町の発展のために視察研修する。家族が地域に広めて行く。	令和元年8月下旬 (午前中) 昼食
5 山脇 隆	鳥根県美郷町	鳥獣被害対策防止計画 美郷町は害獣とされるイノシシの有効活用によるまちづくりを展開する「山くじらブラインド推進課」を4月1日新設した。 同課は国内の鳥獣害分野を先導する研究者や鳥獣害対策を産業へとむすびつけようと考え企業等と連携を取って行く。 この地域産業の活性化に成功しており研修目的とした。 (インターネット 鳥根県美郷町 鳥獣被害対策より検索)	10月～2月の間
6 横山 璋也	鹿野町観光協会	地域振興を図る為、鹿野町観光協会が推進している諸事業について知りたい。	

国府地域振興会議 国府地域内学校訪問 概要（案）

1 趣旨・目的

国府地域内の小・中学校を訪問し、授業風景や子どもたちの様子を観察するとともに、学校運営・教育方針などについて研修することにより、本市の教育行政にさらなる関心を深めるとともに、市政発展に資するスキルを身につける。

2 日時 令和元年12月上旬（平日） ※第6回国府地域振興会議の一環として

3 視察先 国府東小学校、宮ノ下小学校

4 参加者 国府地域振興会議委員12名、国府町総合支所職員5名 計17名

5 日程

- 10:00 国府東小学校 集合（各自）
- 10:05～ 国府東小学校 授業参観
- 10:35～ 学校運営・教育方針等研修（学校長から）
- 11:00 国府東小学校出発 ⇒ 宮ノ下小学校へ（各自）
- 11:15～ 宮ノ下小学校 授業参観
- 11:45～ 学校運営・教育方針等研修（学校長から）
- 12:10～ 給食の試食・歓談 ⇒ 流れ解散

6 その他

- (1) 給食代として、当日一人当たり273円集金させていただきます。
- (2) 学校間の移動については、各自で対応をお願いします。
- (3) 令和2年度、国府中学校にかかる同様の取組を計画します。